



～文化遺産を訪ねて歩こう!!～

昨年4月号からことし3月号までの上尾歴史散歩は、『あげお歴史探検マップ』をもとに、市内の文化遺産を訪ね歩く市内の散策コースを紹介いたします。1～3月は、上尾・上平地区周辺のコースを巡ります。



現在の氷川御神社

- 4月 今に伝わる祈りの文化
- 5月
- 6月
- 7月 荒川周辺に花開いた文化
- 8月
- 9月
- 10月 人と文化が繋いだ町
- 11月
- 12月
- 1月 街道に刻まれた歴史
- 2月
- 3月

街道に刻まれた歴史

～中山道・鎌倉街道をたどるコース～

距離	時間
JR上尾駅スタート	
0.21km ↓	2分
①氷川御神社	
0.50km ↓	5分
②遍照院	
1.56km ↓	18分
③東町会館	

★時間は、歩いたときの目安の所要時間です

中山道と上尾宿の旧跡

今回から3回にわたって、中山道や鎌倉街道など、古くからある街道沿いに発展した上尾・上平地区を巡ろう。

JR上尾駅の東口を出ると、高崎線と並行して南北に走っている旧中山道がある。中山道は江戸時代、幕府によって整備された五街道の一つで、江戸・日本橋(東京都中央区)から現在の埼玉、群馬、長野、岐阜、滋賀の各県を経由して、京都・三条大橋(京都市)へと続いている。上尾宿は板橋・蕨・浦和・大宮に続く江戸から5番目の宿場で、江戸時代末期の天保14(1843)年には、大名とその一行が宿泊する本陣が1軒と脇本陣が3軒、庶民向けの旅館が41軒存在した。上尾宿は幾度も火災に見舞われ、また戦後大きく開発も進んだことから、現存する宿場町当時の物は多くはないが、火災除けのため屋根の上に置かれた鍾馭像や、江戸時代の絵図にも描かれている御太神宮(現・氷川御神社)や遍照院などに、宿場町の名残を見ることができ

る。

「氷川御神社」①内には、市指定文化財の史跡「上尾郷二賢堂跡」がある。「二賢堂」の名称は、江戸幕府の中で主流であった朱子学(儒学の一学派)の祖である朱子と、「学問の神

様」として知られる菅原道真にちなんだもので、ここには、上尾宿の山崎武平治碩茂が天明8(1788)年に有志と共に開いた「聚正義塾」と呼ばれる、主に成人を対象とした教育施設があった。また、境内にある元禄8(1695)年の紀年銘がある手水鉢には、「上尾町」という文字が刻まれているが、これは市内に現存する石造物の中で、「上尾」と刻まれた最も古い用例と考えられている。

碩茂は氷川御神社の北隣で旅館を営んだ山崎家の4代目に当たり、「遍照院」②の一角に墓所がある。この墓は「山崎武平治碩茂の墓」として市の文化財に指定されている。墓石の側面には「名月やひとつに帰る人心」と辞世の句が刻まれており、俳人としての活躍も今に伝えている。

上尾宿の旧跡を後にして、国道17号に出て南へ向かうと、「東町会館」③に着く。東町会館に隣接して、市指定天然記念物の「むくの木」がそびえている。高さは約20m、幹周り約5mあり、樹齢は約500年と推定されている。

次号では、「むくの木」を起点として、東側へと続く形で残されている「鎌倉街道」と呼ばれる古道を進んでいこう。

(上尾市生涯学習課)